

Tokyo-London Financial Seminar 2022

～フィンテックの今後の展望～

2022年2月15日(火)

17:30～19:00 (予定)

オンライン配信

参加費無料

※別途、事前参加申込が必要です。

対 象

国内外のフィンテック関連企業、金融機関、関係省庁・団体、都民の方々等、どなたでもご視聴頂けます。

プログラム(予定) ※日英同時通訳あり

(敬称略)

時 間	項 目	登壇者
17:30	開会挨拶(ビデオメッセージ)	ヴィンセント・キーヴェニー (シティ・オブ・ロンドン ロード・メイヤー)
17:33	基調講演 「金融のデジタル化に向けて」	宮坂 学 (東京都副知事)
17:41	講演 「Financial digitalization for sustainable growth」	三浦 知宏 (金融庁 総合政策局参事官(フィンテック室長))
17:49	講演 「Fintech 分野における 日英連携の今後の展望」	鬼頭 武嗣 (一般社団法人 Fintech 協会 代表理事副会長)
17:57	日本企業ピッチ(3社)	村田 大輔 (クラウドローン株式会社 代表取締役) 齋藤 舞 (株式会社 MEME 代表取締役) 貴志 優紀 (サステナブル・ラボ株式会社 Chief Financial Officer)
18:12	講演 「インベストメント・マネージメントに おけるフィンテック活用の重要性」	クリス・カミングス (インベストメント アソシエーション CEO)
18:20	講演 「インベストメント・マネージメントに おけるフィンテックの今後の展望と 革新の必要性」	コリン・ベネット (GAM インベストメンツ マーケティング・クライアントエクスペリエンス 責任者)
18:28	講演 「アセットマネジメントの混乱期を 乗り切る」	クリスチャン・マッキントッシュ (KPMG 英国 取締役(アセット・マネージメント))
18:36	英国企業ピッチ(3社)	ラッキー・アーメド (クライメート・エクス CEO・共同創設者) マックス・ラム (サファイア EMEA責任者) イアン・ヴィッカーズ (メットクラウド(MetCloud) CEO)
18:51	閉会挨拶(ビデオメッセージ)	小池 百合子 (東京都知事)

<https://www.financialsemi.metro.tokyo.lg.jp/>

Tokyo-London Financial Seminar 2022 事務局(株式会社コンベンションリンクージ社内)
お問い合わせメール: tlfs2022@c-linkage.co.jp



主催



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT

共催



CITY
LONDON

後援



Financial Services Agency



閉会挨拶

小池 百合子

東京都知事

1976年10月
1992年 7月
1993年 7月
2003年 9月
2004年 9月
2006年 9月
2007年 7月
2010年 9月
2011年10月
2016年 7月
2020年 7月
カイロ大学文学部 社会科学卒業
参議院議員
衆議院議員
環境大臣
内閣府特命担当大臣
(沖縄及び北方対策)兼任
内閣総理大臣補佐官
(国家安全保障問題担当)
防衛大臣
自民党総務会長
予算委員会理事
東京都知事 当選
東京都知事 当選(2期目)



基調講演 金融のデジタル化に向けて

宮坂 学

東京都副知事

1997年6月
2012年6月
2013年6月
2018年6月
2019年7月
2019年9月
ヤフー(株) 入社
ヤフー(株) 代表取締役社長
ソフトバンク(株)
(現ソフトバンクグループ(株)) 取締役
ヤフー(株) 取締役会長(〜2019年6月18日)
東京都参与(〜2019年9月19日)
東京都副知事(現任)



開会挨拶

ヴィンセント・キーヴェニー

シティ・オブ・ロンドン
ロード・メイヤー

2021年9月29日、ヴィンセント・キーヴェニー参事会員は、シティ・オブ・ロンドンの次期ロード・メイヤーに選出された。2021年11月12日に第693代ロード・メイヤーに就任。2018〜19年、シティ・オブ・ロンドンの行政官を務め、その役職において当時のロード・メイヤーを支え、国内外で多数の取り組みや活動を行った。



ヴィンセントは、DLAパイパー国際事業法律事務所のパートナーである。銀行、金融機関および法人顧客に対して、英国における債券市場、ストラクチャードファイナンス、証券化取引に関するアドバイスをを行い、また国際的には、銀行業務や金融およびキャピタルマーケット取引に関するアドバイスも行っている。専門分野における指導的専門家として主要法務登録簿に記載されており、証券分野の専門家として500人の法務家に殿堂入りしている。2019年5月まで、DLAパイパーの財務サービス部門国際共同議長、2014/15年には、シティ・オブ・ロンドン法務協会の会長を務めた。グレイ法曹院の名譽評議員でもある。

2013年にシティ・オブ・ロンドン、ファリンドン・ウィズイン・ワードの参事会員に選出されて以来、キーヴェニー参事会員は、シティ・オブ・ロンドン自治体の複数の委員会委員を務めた。現在は、政策・資源委員会とホームレス・野宿小委員会の委員である。また、シティ・オブ・ロンドン・スクールの理事でもある。また、財務省およびBEIS (ビジネス・エネルギー・産業戦略省) の社会経済的多様性特別委員会の共同議長も務める。

シティ・オブ・ロンドン弁護士会、羊毛業者、酒造家、眼鏡製造業、書籍出版業、機械組業者、アップホルダース、セキュリティ専門家などの各会社の同業組合員であるヴィンセントは、2014/15年には上席弁護士を務めた。また、シティ・リパリエー・クラス、シティ・ピクウィック・クラス、ロイヤル・ソサエティ・オブ・セントジョージ(シティ支部)、コート・オブ・ジ・オナブラブル・ジ・アイリッシュ・ソサエティの会員及びファリンドン・ワード・クラブのシニアパトロン(上級後援者)である。

ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン(USD)で民法士号を取得し、その後、ダブリンのトリニティー・カレッジで文学修士号を取得した。2018年、彼はロー・アルム・オブ・ザ・イヤーとして顕彰された。1992年にイングラッドとウェルズで弁護士として開業して以来、シティで個人開業弁護士として働いている。演劇・芸術にも関心が高く、サー・ジョン・ソーンズ美術館の管財人であり、独立取締役を務める。ボーカル・アンサンブルのイグザクティの理事長であり、アクターズ・ツーリング・カンパニーの役員でもある。

看護師のアンダと結婚、余暇にはテニスやラブラドルとの散歩を楽しんでいる。

講演 Financial digitalization for sustainable growth

三浦 知宏

金融庁 総合政策局参事官(フィンテック室長)

1999年金融(監督)庁入行。現在、総合政策局参事官(フィンテック室長)として、フィンテックや分散型金融、マイナバーの金融分野における活用など、金融のデジタル化推進に関する施策を担当(2021年7月〜)。直前は内閣官房において、政府全体としての国際金融センターの実現に向けた、各省庁横断的な施策を推進。その他、金融庁においては主にNISA等の資産形成施策、バーゼルIIIの国内実施を担当。また、米国通貨監督庁、日本銀行、在NY総領事館等に出向し、海外金融規制とマーケット、米国機関投資家の動向を専門的に調査。



講演 インベストメント・マネージメントにおけるフィンテックの今後の展望と革新の必要性

コリン・ベネット

GAMインベストメンツ
マーケティング・クライアントエクスペリエンス責任者

コリン・ベネット氏は、GAMインベストメンツのマーケティング・クライアントエクスペリエンス部門のトップで、グローバルなマーケティング全般、ブランド流通及びデジタル配信活動を担当している。金融サービス部門で25年を超える戦略的・戦術的経験があり、販売、マーケティング、オペレーション、テクノロジーなど多岐に渡る役職において、イノベーションとクライアントエクスペリエンスをたゆまず重視してきた。持続可能な卓越性、思いやりのあるリーダーシップ、包括性を重視し、アセットマネジメント、ウェルスマネジメント、自社ブランド事業の顧客のために複雑な変革と特色あるサービスを実現させるグローバルチームを成功に導いてきた。近年、ウォーリック・ビジネス・スクールでデジタルリーダーシップのエグゼクティブディプロマの称号を取得した。



講演 アセットマネジメントの混乱期を乗り切る

クリスチャン・マッキントッシュ

KPMG英国 取締役(アセット・マネージメント)

クリスチャン・マッキントッシュ氏は、KPMG英国のウェルスマネジメント及びアセットマネジメント部門担当取締役で、イノベーションとディストラクションをリードしている。投資運用会社がイノベーションに必要な条件を創造・維持し、彼らのエコシステムに効果的に関与し、フィンテックやディストラクターとうまく提携できるように支援することに重点を置いている。



現在、多くの資産管理会社の上級経営者の顧問を務め、技術商品化を通じて新たな事業分野の開拓を支援している。世界が重大な転換点を迎える中で、新興技術の可能性に注力することで、ディストラクションを乗り切り、投資家や幅広い社会層のニーズをよりよく満たす手助けをしている。

講演 Fintech 分野における日英連携の今後の展望

鬼頭 武嗣

一般社団法人Fintech協会 代表理事副会長

東京大学工学部建築学科卒業、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。ボストン・コンサルティング・グループを経て、メリルリンチ日本証券の投資銀行部門にて不動産業を中心とした事業会社及びJ-REITのIPO・公募増資の主幹事業、不動産証券化に関するアドバイザー業務など多数の案件を執行。2014年に株式会社クラウドリアルティを設立し、代表取締役役に就任。一般社団法人Fintech協会代表理事、内閣府革新的事業活動評価委員会委員。



講演 インベストメント・マネージメントにおけるフィンテック活用の重要性

クリス・カミングス

インベストメント アソシエーション CEO

クリス・カミングス氏は、英国投資協会の最高経営責任者である。英国投資協会は、英国を基盤とする投資運用会社を代表する業界団体である。



英国財務省の資産運用タスクフォースのメンバーで、英国金融貿易投資委員会の創設メンバーであった。また、英国財務大臣の金融サービス産業諮問グループ及び英国国際通商省の金融サービス取引諮問グループの一員である。資産運用会社の欧州の事業者団体であるEFAMA(欧州投信・投資顧問業協会)の理事、資産運用会社の国際団体であるIIFA(国際投資信託協会)の規制委員会委員でもある。

英国投資協会でのキャリアの前は、主要な国際的企業の銀行、保険、コンサルティングの高級ポストを歴任し、ザ・シティUK(The City UK)の創設CEOを務めていた。金融サービスにおける国際競争や規制に関するコラムニスト、コメンテーター、講演者としても有名である。

日本企業ピッチ 都内フィンテック企業3社

村田 大輔

クラウドローン株式会社 代表取締役

某ネット銀行で不正取引・犯罪不正口座対応などリスク管理の対応窓口顧客対応責任者。監督業務。クラウドソーシング事業nutteを共同創業COO。不動産賃貸マッチングアプリJiettyの事業部長を経てクラウドローン株式会社(旧株式会社UPWARDS)設立。

金融庁より法令事前適用確認(ノーアクションレター)を取得。

銀行リテール部門への営業に成功し、2020年クラウドローンをリリース。

一般社団法人Fintech協会加盟
貸金業取扱主任者



齋藤 舞

株式会社MEME 代表取締役

商社にて海外事業部の管理責任者として6年間の経験を経て、日本の送金システムや決済手段の不便さを感じる。その後の、親子の金融教育セミナーの企画運営を機に、株式会社MEMEを2021年に設立。当社は、子どもたちに金融リテラシーを教え、次世代のデジタルネイティブの為の決済ソリューションカンパニーを目指します。



貴志 優紀

サステナブル・ラボ株式会社 Chief Financial Officer

2008年ドレスナー・クラインオート証券、ドイツ証券へ転職を経て、2018年にPlug and Play Japanへ入社。Fintech及びBrand&Retail部門を管理。非財務データ可視化事業を行うFintechスタートアップのサステナブル・ラボ株式会社に、2022年よりCFOとして参画。

ロンドン大学クイーンメアリー校経済学部卒、ケンブリッジ大学MBA

2019年より一般社団法人フィンテック協会理事



英国企業ピッチ 英国フィンテック企業3社

ラッキー・アーメド

クライメート・エックス CEO・共同創設者

ラッキー・アーメド氏は、クライメートX(Climate X)の共同創業者兼CEOで、フォーブスビジネスカウソンのメンバーであり、リーダーズ・フォー・クライメート・アクションを含むいくつかの気候変動に特化した取り組みに参画している。



HSBC、ハンセン、ロイズ・バンキング・グループ、アクセンチュアなど大手銀行・金融サービス機関で15年を超える国際経験を有する。2018年から2019年にかけて、ニューヨークで様々なスタートアップ企業の創業者と会ったことで自身の起業家精神に火が付き、2020年に、共同創業者と共にクライメートXを設立するための旅へと踏み出した。同社は、目的志向のデータ会社で、気候変動に関連した異常気象に関する位置を限定したリスク評価及び損失評価を提供している。

マックス・ラム

サファイア EMEA責任者

ラム氏は、遷移管理、オペレーション、及びクライアントオンボーディングの分野で20年を超える経験があり、グローバルカスタディアン、一流資産運用会社数社、及びトップ3に入るグローバル投資コンサルティング会社でチームを率いてきた。特に、クライアントエクスペリエンス、タイムトゥマーケット、収益性を改善するためのテクノロジーの応用に関心を持っている。金融業界は、参加者を設定データーと結び付ける点ではるかに後れを取っており、時間とコストがかかり、クライアントエクスペリエンスの水準は低く、エラーを起こしてきた。5年前、これらの問題を解決することは概念的なものに過ぎなかったが、今では、まさに解決のための現実的な選択肢が揃っている。



イアン・ヴィッカーズ

メットクラウド(MetCloud) CEO

ヴィッカーズ氏は、2017年にMETCLOUDブランドを立ち上げた。METCLOUDは、英国で最も安全なサイバーセキュリティプラットフォームの一つとして認知されており、国際的に認められた多数のイノベーション賞を獲得してきた。

ヴィッカーズ氏は、ウェストミッドランド・サイバー・レジリエンス・センター(WMCR)の創立メンバー兼理事長に就任。CRCは、英国政府支援のイニシアチブで、NCSC(国家サイバーセキュリティセンター)、警察のサイバーチーム(地域サイバー犯罪対策ユニット[RCCU])、企業、学界と協力して業務を行う地域サイバー・レジリエンス・センターを10か所設立している。



また、世界20社のマイクロソフト・パートナーからなるマイクロソフト・パートナー・アドバイザー・カウンシルのメンバーでもある。2020年5月には、世界経済フォーラムのグローバル・イノベーターズ・コミュニティのメンバーとなった(招待限定)。